

属性No	A-3	地震名	安 政	市町村名	愛南町	整理No.	1/1
西 暦		和 暦		記載文献1	記載文献2	記載文献3	
年	月.日	年	月.日	平岩陽子修士論文, 1994			
1854	12.24	安政元	11.05				
記 載 内 容				現 地 調 査 結 果			
地 名	満倉			位置座標	132° 36' 30.31"		
津波高 記載の有無	(有)・無				32° 57' 06.33"		
津波高 (尺寸)				地盤高 (m)	2.70		
m換算	3~4 (平岩)			その他			
文 献 抜 粋				現 地 写 真			
<p>[平岩陽子：歴史資料に基づく四国沿岸域における津波浸水高の評価に関する研究，修士論文，1994，付表]より転載 城辺：A3~4m[但し，津波高に関する記述文はなし] (参考資料：1993年に徳島大学(村上研究室)で取りまとめられている城辺での安政津波の津波高に関する資料を，以下に示す。 ・現在の満倉橋から500m以上の上流まで海水が逆上し，潮のひいた山間に多くの漁船が打ち上げられた。⇒よりA3~4m)</p>							
備 考							
位置座標：痕跡地点の位置詳細は不明のため”新満倉橋右岸下流側堤防の側溝上”を位置設定とし，Web-GISで検索。							

現地状況写真

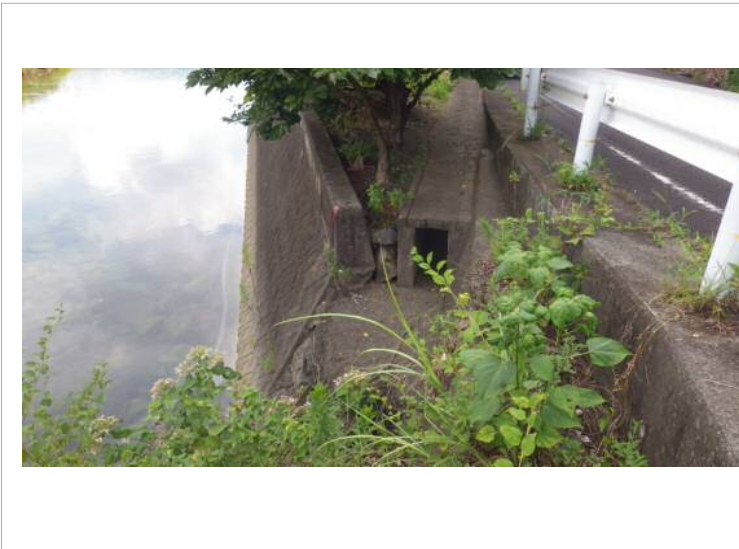


属性番号 A-3

位 置 愛南町満倉

写真番号 1

記 事 :



属性番号 A-3

位 置 愛南町満倉

写真番号 2

記 事 :



属性番号 A-3

位 置 愛南町満倉

写真番号 3

記 事 :
